

科目名	担当者名	配当	期	単位
民事訴訟法発展演習Ⅱ (民事訴訟法発展演習)	小松良正	3選必	後期	2(1)

■講義内容■

本講義は、1年次及び2年次で修得した民事訴訟法の基本的・体系的理解を前提として、長文の具体的事例を素材とした演習問題を用いて、民事訴訟法の領域において実務家に必要とされるより高度な法的思考・法解釈能力を養うことを目的とする。授業は、あらかじめ指定されたテーマについて、ソクラテック・メソッドを用いて行う。なお、以上のような発展演習の応用問題的な観点から、かなり長文であり難易度の高い事例問題と設問から構成される『ロースクール民事訴訟法』を教材として使用する。

■シラバス■

<科目のねらい>

上述のように、本講義のねらいは、民事訴訟法の領域において実務家に必要とされるより高度な法的思考・法解釈能力を養うことを目的とする。受講者は、法律家に必要とされるリーガルライティング能力の向上の観点からも、あらかじめ各テーマの設問について、自分なりの解答を作成して受講することが望まれる。

<科目の内容>

第1回 重複起訴の禁止と相殺の抗弁

この回では、現実の訴訟事件において重複訴訟禁止の要件がどのように判断され、またその処理がどのように行われるかを検討するとともに、相殺の抗弁と重複訴訟禁止の原則の問題をも考察する。

第2回 送達・訴訟手続の中断

この回では、民事訴訟における手続保障の端緒となる送達の意義及び種類（交付送達、郵便に付する送達、及び公示送達）、送達に瑕疵がある場合の判決の効力の問題、及びこれに対する救済方法（判決無効、再審事由等）の問題、及び訴訟手続の中断・受継の問題について検討する。

第3回 当事者の確定・変更

この回では、複雑な事例を前提に、民事訴訟における当事者の確定はどのように行われるか、その判断基準を検討するとともに、氏名冒用訴訟及び死者名義訴訟の訴訟上の処理に関する問題を取り扱う。

第4回 集団訴訟

この回では、現代型訴訟の一つとしての集団訴訟における民事訴訟法上の諸問題、特に法人でない団体の当事者能力の判断基準、その一つとしての財産的独立性の意義、当事者適格、及び第三者の訴訟担当の問題等について検討する。

第5回 訴えの利益

この回では、確認の訴えの訴訟要件の一つである確認の利益の有無の判断はどのような基準に基づいてなされるかを、具体的な事例に基づいて検討する。

第6回 処分権主義

この回では、民事訴訟における重要な基本原則である処分権主義が、現実の訴訟事件においてどのように適用されるのかを、債務不存在確認訴訟および引換給付判決の問題を通して検討する。

第7回 弁論主義・自白

この回では、民事訴訟における重要な基本原則である弁論主義が、現実の訴訟事件においてどのように適用されるのかを検討するとともに、自白の成立要件およびその撤回要件を具体的な事例の中で検討する。

第8回 裁判所の訴訟指揮権

この回では、裁判所の訴訟指揮権の行使とくに釈明権の行使の問題について、裁判所の釈明義務の有無及びその判断基準の問題、釈明義務違反と上告理由、口頭弁論の分離等の問題等を、具体的な事例を通して検討する。

第9回 事実認定の基礎

この回では、裁判所における事実認定の具体的な方法、すなわち直接証拠または間接事実による事実認定の問題を、具体的な事例を通して検討する。併せて、「文書の真正」の問題についても検討する。

第10回 立証活動

この回では、民事訴訟における証拠収集方法にはどのようなものがあるか、「稟議書」は文書提出義務の対象となる文書か、損害額立証の負担の軽減等に関する問題を、具体的な事例に基づいて検討する。

第11回 一部請求

この回では、一部請求確定判決後の残額請求の適否、一部請求と過失相殺、確定判決後の追加賠償請求の問題等を、具体的な事例に基づいて検討する。

第12回 既判力の時的限界

この回では、建物買取請求権を1つの素材として、既判力の基準時後の建物買取請求権の行使の可否、建物買取請求権の行使が認められる場合、裁判所はどのような判決を言い渡すべきか、訴訟における実体法上の形成権の行使の問題点等を、具体的な事例を通して検討する。

第13回 判決効の主観的範囲

この回では、いわゆる「反射効」と「既判力」とはどのような関係に立つか、反射効という考え方にはどのような問題点があるか、判決効の拡張という構成に基づいて請求異議の訴えを提起することはできるか等の問題を、具体的事例に基づいて検討する。

第14回 同時審判申出共同訴訟と補助参加

この回では、同時審判申出共同訴訟の要件及び効果、補助参加及び訴訟告知の要件及び効果の問題を、具体的事例を通して検討する。

第15回 定期試験

<教科書>

三木浩一・山本和彦編『ロースクール民事訴訟法 [第3版補訂2版]』(有斐閣、2011)

<参考書>

高橋宏志『重点講義民事訴訟法 (上) [第2版] (下) [補訂2版]』(有斐閣、2011、2010)

裁判所職員総合研究所監修『民事訴訟法講義案 [再訂補訂版]』(司法協会、2010)

高橋宏志他編『民事訴訟法判例百選 [第4版]』(有斐閣、2010)

伊藤・山本編『民事訴訟法の争点』(有斐閣、2009)

伊藤真『民事訴訟法 [第4版]』(有斐閣、2011)